

瀬戸毘沙門天

22号

平成17年12月
瀬戸毘沙門天

護摩堂完成する

来年から護摩開始

去る六月十日、旧宅の離れが全焼しました。ここで十四年近く護摩を焚いていました。まだ護摩壇がないため焚くことが出来ません。待ちどろしい気持ちです。

供物を祭壇の炉中に投げ入れると、火焰となって天に上がり、天の諸神の口に達し、諸神はそれに答えて人間の願望をかなえてくれる。

護摩法には、その目的から分類して、息災・増益・調伏・敬愛の四種類があります。世間的には地位福德等の増進を願って増益法が多い。

毎年4月第一日曜日に瀬戸毘沙門天王春祭りに護摩法要をおこなっている



マニラのスモークマウンテン



中西圭三さん

マニラを訪れて

中西圭三さんらと

十月十九日から二十二日まで中西圭三さん、矢部さん、中野さん、八幡さんたちとマニラを訪れました。中西さん、矢部さんにカナルンガン・サ・エルマヤマニラの実情を経験してもらったためでした。

スモークマウンテンのごみの山に長靴を履いて入っていました。強烈な物の腐った臭い。なんとも消すことの出来ないにお

いです。中西さんも強烈な印象を受けられたようです。この思いを新曲に託して作ってくれました。

この曲をシンギング・エンジェル・コウラス隊のテーマソングになりました。曲名は「ライトハウス オブ ラブ」

今年を振り返って

平成十七年を振り返って忘れることが出来ないことがある。

昭和五十五年「長島医院」を開業した前で「サンエース」という名前前で電気屋をしていた矢部のりさん。今年亡くなられました。のりさんと呼ばれ親しくしていました。毘沙門天王さんの境内の便所があると、そこに穴を掘ってあじさいを植えました。その植えるところの穴を彼がほってくれました。まだ少し植えきれません。

あっけなくこの世を去っていかれました。

国安さん。毎日定期的に病院に顔をだし何でも手伝ってくれていた国安さん。七月の毘沙門天王さんの夏祭りをおえて、人間ドックに入られ、すぐ入院となりました。肝臓癌と奥さんから聞きました。良くなって再度復帰すると聞かれました。一度退院して自宅療養していましたが、再度入院されそのまま帰らぬ人となりました。本当に残念です。二人とも思いもよらないことでしたから、非常に残念です。諸行無常とは言われていますが、本当に諸行無常な世の中ですね。

納骨堂の建設が遅れています。

開発申請の遅れで。

毎月のお祭り 第一日曜日十一時から